

## ● 報告事項 ●

### 令和2年度通常総会における決定事項

令和2年5月17日（日）に開催された公益社団法人日本透析医会通常総会において、令和元年度事業が報告され、続いて令和元年度財務諸表、役員（監事）選任、定款の一部変更及び定款の一部変更に伴う関係規程の整備についての議案の審議が行われ、それらが原案のとおり承認された。

その通常総会の議事録及び関係資料を掲載する。

#### 通常総会 議事録

【日 時】 令和2年5月17日（日）14時00分～14時42分

【場 所】 ステーションコンファレンス東京 602A  
（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー）

【会員総数】 1,099名

【出席会員】 916名（内訳：本人出席4名、委任状出席912名）

#### 【定足数報告】

- ・開会に先立ち、事務局から、「本日の通常総会の出席会員数は、定款第17条の規定に基づき定足数を満たしているため、本通常総会は有効に成立した」旨が告げられた。

#### 【会長挨拶】

- ・秋澤忠男会長から、「新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、また会員の皆様の安全及び感染拡大防止のため、できる限り出席を控えてほしいとお願いしての通常総会となった。なお、今後とも会員の皆様のご意見を伺った上で法人の運営に当たってまいりたい。」との挨拶があった。

#### 【議長選出等】

- ・本日の通常総会の議長選出が諮られ、篠田俊雄氏が選任され、篠田議長から挨拶があった。
- ・続いて、平成2年4月29日にご逝去された顧問（元理事）：中橋彌光先生、及び平成2年5月5日にご逝去された顧問：中元覚先生のご冥福をお祈りし、出席者全員で黙とうが捧げられた。

#### 【議事録署名人選出】

- ・議長は、議案の審議に先立ち、議事録署名人について次の2名の者を指名し、議場に諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

議事録署名人：宍戸寛治 安藤亮一

#### 【議事内容】

##### 1. 報告事項「令和元年度事業報告」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「令和元年度事業報告」に基づき、役員会等（通常総会・通常理事会・常任理事会・各種委員会）の開催状況、事業の実施状況、会務報告及び法人の概況等について詳細な報告が行われた。

## 2. 審議事項

## (1) 第1号議案「令和元年度財務諸表の承認を求める件」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「令和元年度財務諸表」に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表等に係る財務諸表について、詳細な説明が行われた。

また、平成29年度において公益目的事業がプラス（黒字）となっており、その余剰金解消のために、特定費用準備資金「創立40周年記念事業積立資金」を創設した旨の説明が行われた。

続いて、岩崎文昭監事から、通常総会資料「監査報告書」に基づき、令和元年度事業計画及び計算書類等に関する監事の監査報告が行われた。

以上の説明に基づき、議長により、「令和元年度財務諸表の承認を求める件」について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により原案のとおり承認された。

## (2) 第2号議案「役員（監事）選任の件」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「役員（監事）選任の件」に基づき、本通常総会の終結をもって監事2名が任期満了となることに伴い、監事2名（重任予定）の選任について提案がなされた。

議長により、岩崎文昭監事の選任について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により選任された。

続いて、議長により、渡邊有三監事の選任について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により選任された。

監事（重任）（2名） 岩崎文昭 渡邊 有三

## (3) 第3号議案「定款の一部変更について承認を求める件」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「定款の一部変更について」に基づき、変更理由及び変更内容について詳細な説明が行われた。

議長により、「定款の一部変更について承認を求める件」について採決が行われ、総会員の議決権の4分の3以上の賛成により原案のとおり承認された。

## (4) 第4号議案「定款の一部変更に伴う関係規程の整備について承認を求める件」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「定款の一部変更に伴う関係規程の整備について」に基づき、顧問に関する規程（案）及び名誉会員に関する規程（案）について詳細な説明が行われた。

議長により、「顧問に関する規程の整備」について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により原案のとおり承認された。

続いて、議長により、「名誉会員に関する規程の整備」について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により原案のとおり承認された。

議長は、以上をもって本日の通常総会のすべての議案が終了したと宣言し、14時42分閉会を宣言し解散した。

**通常総会資料**

※以下、通常総会資料を掲載する。

## 報告事項

## 令和元年度事業報告

## I. 事業の状況

## 1. 役員会等に関する事項

## (1) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和元年 5 月 19 日 通常総会	<b>【報告事項】</b> ・平成 30 年度事業報告 <b>【審議事項】</b> 1. 平成 30 年度財務諸表の承認を求める件 2. 役員（理事及び監事）選任の件 3. 新たな規程の制定について承認を求める件 ・常任理事会設置規程（案） ・会員に関する規程（案）	承認 承認 承認 承認

## (2) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 31 年 4 月 19 日 第 1 回通常理事会	<b>【審議事項】</b> 1. 通常総会の開催について 2. 平成 30 年度事業報告及び決算について (1) 平成 30 年度事業報告について (2) 平成 30 年度財務諸表について (3) 監査報告について 3. 会長，副会長，専務理事及び常務理事の選定について 4. 委員会（部会）委員長及び担当理事について <b>【報告事項】</b> 1. 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について 2. 平成 30 年度入会者について	承認 承認 承認 承認
令和元年 5 月 19 日 第 2 回通常理事会	<b>【審議事項】</b> 1. 会長の選定について 2. 副会長，専務理事及び常務理事の選定について 3. 委員会（部会）委員長及び担当理事の選定について 4. 顧問について	承認 承認 承認 承認
令和 2 年 2 月 28 日 第 3 回通常理事会	<b>【審議事項】</b> 1. 令和元年度公募研究助成の決定について 2. 令和 2 年度事業計画及び収支予算について 3. 公益目的事業における収支相償がプラスとなる場合の余剰金の取扱いについて (1) 特定費用準備資金等取扱規程（案） (2) 日本透析医会創立 40 周年記念事業資金（案） 4. 役員（監事）の選任について 5. 定款の一部変更について 6. 定款の一部変更に伴う関係規程の整備について (1) 顧問に関する規程（案） (2) 名誉会員に関する規程（案）	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	7. 倫理審査委員会規程の整備について 8. 利益相反に関する諸規程の整備について 9. 謝金の支払いに関する規程の一部改正について 10. 委員会規程の一部改正について 11. 日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について  <b>【報告事項】</b> 1. 会長及び業務執行理事の職務の執行状況について 2. 令和2年度診療報酬改定について 3. 新型コロナウイルス感染症について 4. 透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言について 5. 透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）の改訂について	承認 承認 承認 承認 承認

## (3) 常任理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成31年4月19日 第1回常任理事会	<b>【審議事項】</b> 1. 本日開催する理事会の議案について (1) 通常総会について (2) 平成30年度事業報告及び決算について ・平成30年度事業報告 ・平成30年度財務諸表 (3) 会長、副会長、専務理事及び常務理事について (4) 委員会（部会）委員長及び担当理事について (5) 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について (6) 平成30年度入会者について 2. 5月19日に開催する理事会の議案について 3. 支部開催の研修会、講演会等の経費補助について 4. 「HIV感染透析患者医療ガイド（改訂版2019）」のホームページ・医会雑誌への掲載について 5. 新規入会者について  <b>【報告事項】</b> 1. 支部長会の開催について 2. 委員会報告について (1) 在宅血液透析部会（3月29日開催） (2) 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」改訂に向けたワーキンググループ（4月12日開催） 3. 公立福生病院における人工透析中止問題について 4. 透析排水管理に関する諸問題について 5. 平成31年度HIV医療講習会の実施について 6. 2019年度春期研修セミナー（東京開催）の参加申込状況について 7. 会員数について（3月31日現在） 8. CKD対策部会と透析医療研究会との協同活動としての論文・英文について	承認 承認  承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和元年5月18日 第2回常任理事会	<b>【審議事項】</b> 1. 通常総会について（5月19日開催） 2. 理事会について（5月19日開催） 3. 支部長会及び第20回災害時情報ネットワーク会議の議事次第について（6月28日開催）	承認 承認 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	4. HIV 透析ネットワークの構築について 5. 支部開催の研修会，講演会等の経費補助について 6. HIF-PH 阻害薬の診療報酬上の位置付けについて 7. 第 23 回透析医療費実態調査について 8. 新規入会者について  <b>【報告事項】</b> 1. 委員会報告について • 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会 (4 月 10 日開催) 2. 公立福生病院における人工透析中止問題について 3. 透析排水管理に関する諸問題について 4. 2019 年度透析医療機関経営・施設実態調査について 5. 会員数について (4 月 30 日現在)	承認 承認 承認 承認 承認
令和元年 6 月 21 日 第 3 回常任理事会	<b>【審議事項】</b> 1. 定款変更の検討状況について 2. 支部長会の資料について (6 月 28 日開催) 3. 血漿交換療法用特定保険医療材料について 4. HIFPHI の保険償還について 5. 支部開催の研修会，講演会等の経費補助について 6. 新規入会者について  <b>【報告事項】</b> 1. 内閣府に提出する平成 30 年度事業報告及び決算について 2. 委員会 (部会) の構成員について 3. 委員会報告について (1) 研修委員会 (5 月 18 日開催) (2) 会誌編集委員会 (6 月 14 日開催) 4. 透析排水管理に関する諸問題について 5. 公立福生病院における人工透析中止問題について 6. 平成 30 年 7 月豪雨に係る災害支援金の用途について 7. 春期研修セミナーの開催状況について (5 月 19 日開催) 8. 令和元年度における寄付金の依頼について 9. 公益法人理事兼職状況について 10. 会員数について (5 月 31 日現在) 11. 臓器移植対策推進功労者に対する厚生労働大臣感謝状贈呈に係る候補者の推薦について 12. 第 20 回災害時情報ネットワーク会議及び第 24 回透析保険審査委員懇談会の資料について (6 月 28 日開催)	承認 承認 承認 継続審議 承認 承認
令和元年 7 月 26 日 第 4 回常任理事会 (Web 会議)	<b>【審議事項】</b> 1. HIV 透析ネットワークの構築について 2. 支部開催の研修会，講演会等の経費補助について 3. エイワイファーマ (株) からの「不採算品再算定」申請の要望について 4. 新規入会者について 5. 厚生労働省保険局医療課への説明資料について (7 月 29 日説明)  <b>【報告事項】</b> 1. 委員会報告 (1) 透析医療におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループ (6 月 29 日開催) (2) 透析医療の中長期的な在り方検討委員会 (6 月 29 日開催)	継続審議 承認 承認 承認・一部保留 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	(3) 「在宅血液透析管理マニュアル」改訂に向けたワーキンググループ (7月12日開催) (4) 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会 (7月24日開催) 2. 第23回透析医療費実態調査の中間報告について 3. 2019年度透析医療機関経営・施設実態調査の中間報告について 4. 会員数について (6月30日現在) 5. 令和元年度 HIV 医療講習会について 6. その他 (1) 透析における人員配置基準について (2) 日本透析医学会からの「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」の査読委員の推薦について (3) 腎臓病臨床経済協議会理事会報告について (6月29日開催)	
令和元年9月20日 第5回常任理事会	<b>【審議事項】</b> 1. 定款の一部変更等について (1) 定款の一部変更について (2) 定款の一部変更に伴う関係規程の整備について ① 顧問に関する規程 (案) ② 名誉会員に関する規程 (案) (3) 定款の一部変更に伴う関係規程の一部改正について ① 研究助成取扱規程 (改正案) ② 研究助成事業基金規程 (改正案) ③ 謝金の支払いに関する規程 (改正案) 2. 委員会規程の一部改正について 3. 公益目的事業における収支相償がプラスとなる場合の余剰金の取扱いについて 4. 透析医療機関における災害対策準備に関する研究について 5. 支部開催の研修会、講演会等の経費補助について 6. 会費未納の会員に対する対応について 7. 新規入会者について 8. 透析医療における人工腎臓透析用剤の必要性について (厚生労働省医政局長への要望書の提出)  <b>【報告事項】</b> 1. 第23回透析医療費実態調査について 2. 透析医療機関経営・施設実態調査2019について 3. 透析医療機関の消費税引上げに伴う診療報酬改定における補てん不足に関するアンケートについて 4. 厚生労働省保険局医療課等への訪問について (訪問日:7月29日, 8月21日, 9月18日) 5. 委員会報告について (1) 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会 (7月24日開催) (2) 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」改訂に向けたワーキンググループ (9月6日開催) (3) 透析医療の自主機能評価指標に関するワーキンググループ (9月13日開催) (4) 「在宅血液透析管理マニュアル」改訂に向けたワーキンググループ (9月13日開催) 6. 透析排水管理に関する諸問題について 7. 公立福生病院における人工透析中止問題について 8. 平成30年7月豪雨の災害支援金の JHAT からの使途報告について	継続審議  継続審議 継続審議  継続審議 継続審議 継続審議 継続審議  一部修正の上承認 承認 継続審議 承認 不承認



開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	<p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度診療報酬改定の動向について</li> <li>2. HIF-PHIの薬価と今年度の保険請求について</li> <li>3. 研修セミナー（熊本開催）の開催状況について</li> <li>4. 委員会報告について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療事故対策部会（10月23日開催）</li> <li>(2) 透析医療におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループ（10月25日開催）</li> <li>(3) 研修委員会（11月2日開催）</li> </ol> </li> <li>5. 透析排水管理に関する諸問題について</li> <li>6. 透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言について</li> <li>7. 会員数について（10月31日現在）</li> </ol>	
令和元年12月13日 第8回常任理事会	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度事業計画及び収支予算について</li> <li>2. 倫理審査委員会規程の整備について</li> <li>3. 個人情報の保護に関する諸規程の整備について</li> <li>4. HIV感染者透析ネットワークの構築について</li> <li>5. 令和3年度秋期研修セミナーの開催日程について</li> <li>6. 透析医療機関・透析室の廃止・休止・夜間透析の中止について</li> <li>7. 支部開催の研修会，講演会等の経費補助について</li> <li>8. 新規入会について</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度診療報酬改定の動向について</li> <li>2. 非自己管理型在宅血液透析施行施設について</li> <li>3. 委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会（11月13日開催）</li> <li>(2) 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」改訂に向けたワーキンググループ（12月6日開催）</li> </ol> </li> <li>4. 厚生労働省医政局医事課訪問について（12月6日訪問）</li> <li>5. 透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言について（日本透析医学会委員会：11月30日・12月8日開催）</li> <li>6. 会員数について（11月30日現在）</li> <li>7. その他</li> </ol>	一部修正の上承認 継続審議 継続審議 承認 承認 継続審議 承認 承認
令和2年1月24日 第9回常任理事会	<p><b>【審議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度事業計画及び収支予算について</li> <li>2. 公益目的事業における収支相償がプラスとなる場合の余剰金の取扱いについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 特定費用準備資金等取扱規程（案）</li> <li>(2) 日本透析医会創立40周年記念事業資金（案）</li> </ol> </li> <li>3. 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について</li> <li>4. 謝金の支払いに関する規程の一部改正について</li> <li>5. 日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について</li> <li>6. 通常理事会（2月28日開催）について</li> <li>7. オンライン診療について</li> <li>8. 非自己管理型在宅血液透析施行施設について</li> <li>9. 支部開催の研修会，講演会等の経費補助について</li> <li>10. 新規入会者について</li> </ol>	承認  承認 承認 承認 承認 承認 承認 継続審議 継続審議 承認 承認



開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	<p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度診療報酬改定の動向について</li> <li>2. 透析排水管理に関する諸問題について</li> <li>3. 透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言について</li> <li>4. 透析医療に関する自主機能評価指標について</li> <li>5. 会員数について（令和元年12月31日現在）</li> </ol>	
令和2年2月28日 第10回常任理事会	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本日開催する通常理事会について</li> <li>2. 非自己管理型在宅血液透析施行施設について</li> <li>3. 通常総会について（5月17日開催）</li> </ol> <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度仮決算について</li> <li>2. オンライン診療について</li> <li>3. 透析医療機関の廃院及び透析室の廃止について</li> <li>4. 委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 研究助成審査委員会（1月24日開催）</li> <li>(2) 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」改訂に向けたワーキンググループ（1月31日開催）</li> <li>(3) 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会（2月12日開催）</li> <li>(4) 会誌編集委員会（2月14日開催）</li> </ol> </li> <li>5. 会員数について（1月31日現在）</li> </ol>	承認 継続審議 継続審議
令和2年3月27日 第11回常任理事会 (Web会議)	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通常理事会について（4月17日開催）</li> <li>2. 通常総会について（5月17日開催）</li> <li>3. 利益相反委員会委員について</li> <li>4. 倫理審査委員会委員について</li> <li>5. 新規入会者について</li> </ol> <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染症について</li> <li>2. 腎疾患政策研究事業（厚生労働科学研究費補助金）について</li> <li>3. 令和2年度診療報酬改定について</li> <li>4. 透析排水管理に関する諸問題について</li> <li>5. 会員数について（2月29日現在）</li> </ol>	承認 承認 承認 承認 承認

## (4) 委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>標準透析療法委員会 令和元年6月28日 (支部長会)</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>診療報酬改定について <ul style="list-style-type: none"> <li>透析医療機関の消費税率引き上げに伴う診療報酬改定における補てん不足に関するアンケート</li> </ul> </li> <li>第23回透析医療費実態調査について</li> <li>透析医療機関経営・施設実態調査2019について</li> </ol>	<p>報告</p> <p>報告</p> <p>報告</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>腎不全対策委員会 CKD対策部会 血液透析患者実態調査 検討ワーキンググループ 平成31年4月10日 令和元年7月24日 令和元年11月13日</li> </ul>	<p>2016年全国透析患者実態調査のデータ分析 透析医療機関における災害対策準備に関する研究 2016年全国透析患者実態調査のデータ分析</p>	<p>継続審議</p> <p>承認</p> <p>継続審議</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>腎不全対策委員会 在宅血液透析部会 「在宅血液透析管理マニュアル」改訂に向けたワーキンググループ 令和元年7月12日 令和元年9月13日</li> </ul>	<p>}「在宅血液透析管理マニュアル」(平成22年2月発刊)の改訂について</p>	<p>継続審議</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>透析医療の中長期的な 在り方検討委員会 令和元年6月29日</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>透析医療の自主機能評価指標について <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーキンググループの設置について</li> </ul> </li> <li>その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬改定に当たって日本透析医会と日本透析医学会との連携について</li> </ul> </li> </ol>	<p>承認</p> <p>承認</p>
<p>透析医療におけるチーム 医療に関する検討ワーキ ンググループ 令和元年6月29日 令和元年10月25日</p>	<p>職種別業務分担について 職種別業務分担について</p>	<p>継続審議</p> <p>々</p>
<p>透析医療の自主機能評価 指標に関するワーキング グループ 令和元年9月13日</p>	<p>透析医療の自主機能評価指標について</p>	<p>一部修正の上承認</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>会誌編集委員会 令和元年6月14日</li> <li>令和元年10月11日</li> <li>令和2年2月14日</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>34巻1号について</li> <li>34巻2号について(進捗状況・学会案内)</li> <li>34巻3号について(企画・方針)</li> <li>執筆規定の一部修正について</li> <li>34巻2号について</li> <li>34巻3号について(進捗状況・学会案内)</li> <li>35巻1号について(企画・方針)</li> <li>日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について</li> <li>年間予定について</li> <li>34巻3号について</li> <li>35巻1号について(進捗状況)</li> <li>35巻2号について(企画・方針)</li> </ol>	<p>報告</p> <p>報告</p> <p>承認</p> <p>承認</p> <p>報告</p> <p>報告</p> <p>承認</p> <p>一部修正の上承認</p> <p>一部修正の上承認</p> <p>報告</p> <p>報告</p> <p>承認</p>

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	4. 日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について 5. 日本透析医会雑誌執筆要領の一部改正について	一部修正の上承認 一部修正の上承認
・研修委員会 令和元年5月18日  令和元年11月2日	1. 2019年度研修セミナー（熊本開催）について 2. 2020年度研修セミナー（東京開催）について 3. 支部開催の研修会、講演会等の経費補助について 1. 2020年度秋期研修セミナーについて（10月4日高松開催） 2. 2019年度秋期研修セミナーについて（11月3日熊本開催） 3. 2020年度春期研修セミナーについて（5月17日東京開催） 4. 支部開催の研修会、講演会等の経費補助について	報告 承認 承認 承認 報告 報告 報告
・研究助成審査委員会 令和2年1月24日	1. 研究助成申請に係る書面審査結果報告 2. 研究助成申請課題の採否について	報告 承認
・災害時透析医療対策委員会 平成元年6月28日 （災害時情報ネットワーク会議）	1. 特別講演 「東京都における災害対策の取り組み」 「平成30年7月豪雨 災害岡山県の対応と問題点」 2. JHAT活動報告 3. 支部活動報告 4. 平成30年度活動報告 5. 令和2年度活動計画 6. 第20回情報伝達訓練の実施等について	報告 報告 報告 承認 承認
・医療安全対策委員会 感染防止対策部会 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」改訂に向けたワーキンググループ 平成31年4月12日 令和元年9月6日 令和元年12月6日 令和2年1月31日	} 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）」の改訂について	継続審議 継続審議 継続審議 一部修正の上承認
医療事故対策部会 令和元年10月23日		透析医療事故の実態に関する全国調査について
定款変更に関する打合せ会議 令和元年6月21日 令和元年9月20日	1. 定款の一部変更について 1. 定款の一部変更について 2. 定款の一部変更に伴う関係規程の整備について (1) 顧問に関する規程（案） (2) 名誉会員に関する規程（案） 3. 定款の一部変更に伴う関係規程の一部改正について (1) 研究助成取扱規程（案） (2) 研究助成事業基金規程（案） (3) 謝金の支払いに関する規程（案） 4. 委員会規程の一部改正について	継続審議 一部修正の上承認  一部修正の上承認 一部修正の上承認  承認 承認 一部修正の上承認 一部修正の上承認

## 2. 事業の実施状況

### 公1 腎不全対策・人工透析療法に関する調査研究、普及、教育研修事業

#### 1. 腎不全対策・人工透析療法に関する調査研究事業

##### (1) 標準透析療法委員会

###### ① 支部長会

令和元年6月28日、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル（横浜市）において、支部長会議を開催し、42名が出席し、透析排水管理に関する諸問題、消費税引き上げに伴う診療報酬改定、第23回透析医療費実態調査、公立福生病院における人工透析中止問題等について、詳細な説明・報告及び関連事項の質疑応答を行った。

###### ② 透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言

日本透析医学会においては、従前の提言「維持血液透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」（2014年）にSDM及びACP並びに終末期でない患者の意思決定プロセスなどを追加して改訂すべき時期にきていると判断し、「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言作成委員会」において検討し、令和2年4月にその提言が示される予定である。この提言作成委員会に当会から役員2名、及び外部査読委員に当会から1名の役員を推薦した。

##### (2) 腎不全対策委員会

###### 1) CKD（慢性腎臓病）対策部会

- ① 厚生労働省が定めた令和元年度臓器移植普及推進月間について、主催の一団体として参画し、臓器移植推進国民大会を後援した。
- ② （公社）日本臓器移植ネットワークの運営事業に参画し、腎移植の普及推進に協力した。
- ③ 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループにおいて、2016年度血液透析患者実態調査結果のデータを分析し、次回2021年度調査に向けて調査項目及び調査計画等について検討した。
- ④ 透析医療施設における災害の備えに関する問題点を探るため、日本透析医会（血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ）と透析医療研究会との共同で、透析医療施設における災害への備えに関する調査を実施した。調査結果は、日本透析医会雑誌（Vol.35-No.2）にて報告する予定である。
- ⑤ HIV感染症の医療体制の整備に関する研究班（厚生労働行政推進調査事業）からの協力依頼に基づき、各支部長（都道府県透析医会会長）あてに、HIV感染者に係る透析ネットワークの構築に関するアンケート調査を実施した。この結果に基づき、同研究班においては、支部長と協議し、地域のHIV拠点病院の選定等を行うこととしている。

###### 2) 在宅血液透析部会

在宅血液透析部会の下に設置したワーキンググループにおいて、「在宅血液透析管理マニュアル」（平成22年2月発刊）の令和2年度の改訂に向けて検討した。

##### (3) 医療経済委員会

###### 1) 制度調査部会

令和元年7月、第23回透析医療費実態調査を実施した。171施設の協力を得て、6月分の外来透析診療のレセプト情報をWebシステムにより集計及び分析した。

有効レセプト数は、全例11,939件（病院5,532件、診療所6,407件）であった。調査結果は、日本透析医会雑誌（Vol.35-No.1）に掲載する予定である。

###### 2) 経営検討部会

- ① 透析医療機関経営・施設実態調査（2年に1回実施）

令和元年7月、透析医療機関の経営状況を把握するため、「透析医療機関経営・施設実態調査」を実施した。協利法人は256法人であった。調査結果は、令和2年度診療報酬改定に関する要望の際の参考とした。

② 透析医療機関の消費税負担増加に関する緊急アンケート調査2019

令和元年8月、透析医療機関の消費税引上げに伴う診療報酬改定における補てん不足に関する緊急アンケートを実施し、協力医療機関は137施設であった。調査結果は、令和2年度診療報酬改定に関する要望の際の参考とした。その内容は、日本透析医会雑誌 (Vol.34-No.3) に掲載した。

③ 透析排水管理に関する諸問題

平成30年7月、東京都下水道局より指摘を受けた透析排水管理に関する諸問題について、平成31年1月に会告「透析施設の排水による下水道管損傷事例発生とその対策について」、同年2月に「透析排水管理について」、同年4月に「透析関連排水に関する勧告」を発出した。これらの内容は、日本透析医会雑誌 (Vol.34-No.1) に掲載した。

更に、令和元年5月19日(日)に開催した日本透析医会研修セミナー(東京開催)において、日本透析医学会及び東京都下水道局から講師を招き、同問題に関する講演会を開催した。

また、日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本透析医会の3団体の委員(当会:専務理事)で構成する「透析排水管理ワーキンググループ」において、透析排水に関する関係法規を遵守し適正な排水管理を実施することを目的とした「2019年版透析排水基準」を策定した。この内容は、10月30日の当会ホームページ及び日本透析医会雑誌 (Vol.34-No.3) にて関係者あてに周知した。

その他、透析排水管理に関する諸問題については、東京都下水道局とも協議しつつ、その対応策を検討しているところである。

(4) 医療保険委員会

① 第24回透析保険審査委員懇談会

令和元年6月28日、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル(横浜市)において、第24回透析保険審査委員懇談会を開催し、全国の保険審査委員約100名が参加した。当日は、事前に実施したアンケート(検討事項、要望事項等)に基づき、基本診療料、医学管理、検査・画像、投薬・注射、処置、手術の診療行為別に討論を行った。その詳細な報告については、日本透析医会雑誌 (Vol.34-No.3) に掲載した。

(5) 介護保険委員会

要介護高齢透析患者が増加し、終の棲家としての介護関連入居施設の重要性が増す一方で、入居を必要とする透析患者の入居施設への受入れが進んでいない状況を踏まえ、入居施設が抱く不安や諸問題を理解し、介護と医療の連携改善を図る目的で、平成30年8月に「介護入居施設からみた透析患者や透析医療に関する意識調査および実態調査」を実施した。その結果については、日本透析医会雑誌 (Vol.34-No.2) にて報告した。

(6) 透析医療の中長期的な在り方検討委員会

透析医療の中長期的な在り方検討委員会の下に、日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本腎不全看護学会から推薦された委員で構成する次の二つのワーキンググループを設置し、それぞれ保課について検討した。

① 透析医療におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループ

「透析医療における職種別業務分担に関する調査報告」(平成24年調査実施、日本透析医会雑誌

Vol.27-No.1にて報告)をもとに、今後の透析医療の提供体制における看護師及び臨床工学技士の担うべき役割等について医師のタスクシフティングの観点から検討を行い、透析医療に関する職種別業務分担(診療補助行為)について検討した。

② 透析医療の自主機能評価指標に関する検討ワーキンググループ

透析医療の自主機能評価指標(平成26年3月)の項目等の見直しを行い、日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本腎不全看護学会との連携のもとに、今後、透析医療施設に対して同指標の公表について理解・協力を求めることとしている。この指標内容は、日本透析医会雑誌(Vol.35-No.2)に掲載する予定である。

## 2. 人工透析療法の普及事業

### (1) 会誌編集委員会

#### ① 機関誌の発刊

「日本透析医会雑誌」Vol.34-No.1(4月)、Vol.34-No.2(8月)、Vol.34-No.3(12月)の3巻を発行した。

#### ② 機関誌の充実

- ・透析医療経済と災害対策問題を最重要課題とし、また透析医療に関する最新・話題の学术论文の提供、各種実態調査報告等をタイムリーに提供するため、企画・検討し、機関誌に掲載した。
- ・病理組織、災害状況などの図表のカラー化を進めるなど、機関誌の充実を図った。

#### ③ 研修セミナー・学会・研究会等の各種案内を機関誌に掲載し、各種学術情報を提供した。

## 3. 人工透析療法に関わる医療従事者の教育研究事業

### (1) 研修委員会

#### 1) 研修セミナー

##### ① 令和元年度研修セミナーの開催状況

##### ア. 春期(東京開催)

- ・主 題：透析医療における Safety Management
- ・開催日：令和元年5月19日(日)
- ・会 場：ソラシティカンファレンスセンター
- ・参加数：317名

##### イ. 秋期(熊本開催)

- ・主 題：透析医療は・・・此处まで来て・・・何を抱えて・・・何処を目指すのか
- ・開催日：令和元年11月3日(日)
- ・会 場：ホテル日航熊本
- ・参加数：229名

##### ② 令和2年度研修セミナーの開催予定

##### ア. 春期(東京開催) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・主 題：長期透析において克服すべき諸問題
- ・開催日：令和2年5月17日(日)
- ・会 場：ソラシティカンファレンスセンター

##### イ. 秋期(高松開催)

- ・主 題：変わりつつある・・・我が国の透析治療
- ・開催日：令和2年10月4日(日)

- 会 場：JR ホテルクレメント高松
  - ③ 令和3年度研修セミナーの開催予定
    - ア. 春期（東京開催）
      - 開催日：令和3年5月16日（日）
      - 会 場：ソラシティカンファレンスセンター
    - イ. 秋期（京都開催）
      - 開催日：令和3年10月3日（日）
      - 会 場：京都ブライトンホテル
- (注) 主題は未定

## 2) 地域医療システム確立のための都道府県単位で開催される研修会への経費補助

支部（都道府県透析医会等）が開催した以下の研修会・講演会（15支部・18件）に対し、経費の助成を行った。

- 北海道透析医会 「北海道透析医会 2019年度役員会・総会・後援会」
- 青森県透析医会 「第43回青森人工透析研究会」
- 宮城県透析医会 「第48回宮城県腎不全研究会」
- 日本透析医会福島県支部 「日本透析医会福島県支部学術集会」
- 東京都透析医会 「第2回東京都透析災害対策セミナー」  
「透析排液管理研修セミナー」  
「第3回東京都透析医会講演会」  
「第48回東京透析研究会」
- 神奈川県透析医会 「第3回神奈川県透析医会総会・学術講演会」
- 長野県透析医会 「第67回長野県透析研究会学術集会」
- 静岡県透析医会 「第54回静岡県腎不全研究会」
- 愛知県透析医会 「令和元年度愛知県透析医会研修会」
- 大阪透析医会 「大阪透析医会講演会」
- 兵庫県透析医会 「災害時医療支援船活動防災教育セミナー」
- 福岡県透析医会 「第65回福岡市透析集談会」
- 熊本県透析施設協議会 「熊本県透析施設協議会 秋の講演会」
- 宮崎県透析医会 「第47回宮崎県人工透析研究会」
- 鹿児島県透析医会 「鹿児島県透析医会学術講演会」

## 公2 人工透析療法に関する研究助成事業

### 1. 公募研究助成事業

#### (1) 研究助成審査委員会

公募研究助成の申請のあった23件について、研究助成審査委員会において厳正なる審査を行い、理事会の承認を経て以下のとおり決定した（11件・総額16,550,000円）。

- 国際基準の環境アセスメントを根拠とした透析併用療法の検討 450,000円  
（筑波大学 医学医療系 腎臓内科学 永井 恵）
- 運動弱者に対する運動の代替としての電気刺激の可能性 500,000円  
（筑波技術大学 保健科学部保健学科 三浦 美佐）

• 腹膜透析治療における間葉系幹細胞の効果 (広島大学病院 腎臓内科 正木 崇生)	2,100,000 円
• 腹膜透過性に着目した腹膜線維化機序解明と臨床応用 (金沢大学附属病院 血液浄化療法部 坂井 宣彦)	2,000,000 円
• 腎臓病における Semaphorin3A を介した腎線維化の制御 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学 辻 憲二)	950,000 円
• 慢性腎臓病における腸内細菌叢の乱れが trimethylamine-N-oxide (TMAO) の増加を介して血管石灰化およびサルコペニアを引き起こす機序の解明 (九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科 山田 俊輔)	2,000,000 円
• 腹膜透析時の細胞外基質リモデリングにおける CTGF と MMP-10 のクロストーク (京都大学大学院 医学研究科 腎臓内科学講座 横井 秀基)	1,900,000 円
• 透析患者におけるサルコペニアの microRNA 診断マーカーの確立と機能解析 (東京医科歯科大学医学部附属病院 血液浄化療法部 萬代 新太郎)	1,500,000 円
• 血管石灰化へのミネラル代謝異常と老化の関連性 (昭和大学医学部内科学講座 腎臓内科学部門 溝渕 正英)	2,500,000 円
• 透析用カテーテルの機能不全防止システムの開発 (新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科 高橋 良光)	950,000 円
• 透析患者における血清 Calprotectin (MRP8/14) の臨床的意義と機能的メカニズムの解明 (熊本大学 生命科学研究部 腎臓内科学 栗原 孝成)	1,700,000 円

### 公3 人工透析療法に関する安全対策事業

#### 1. 災害時における国、地方公共団体等が行う腎不全医療に関する安全対策への協力事業

##### (1) 災害時透析医療対策委員会

###### ① 第20回災害時情報ネットワーク会議

令和元年6月28日、各都道府県災害時情報ネットワーク関係者など97名の参加を得て開催された。特別講演では「東京都における災害対策の取り組み」(東京女子医科大学：花房規男先生)及び「平成30年7月豪雨災害 岡山県の対応と問題点」(西崎内科医院：藤本孝義先生)の講演が行われた。引き続き平成30年度におけるJHAT(日本災害時透析医療協働支援チーム・山家敏彦事務局長)及び各支部からの活動報告が行われ、また災害時情報ネットワーク本部から平成30年度活動報告と令和元年度活動計画についての説明等が行われた。この会議の詳細は、日本透析医会雑誌(Vol.34-No.3)に掲載した。

###### ② 第20回災害時情報伝達訓練

令和元年9月1日、地域における情報伝達網を活用して、地域情報伝達用ホームページ又は本部ホームページに施設情報の登録を依頼し、44都道府県で計2,029施設が参加した。

###### ③ 災害時の対応

###### • 災害時情報活動

以下の大規模災害(地震：震度6弱\*以上、風水害、火山活動等)に対応して、災害時情報メーリングリスト(Joho\_mail)を活用して災害時情報活動を行った。

- 令和元年 6月22日 山形県沖を震源とする地震

(M6.1, 新潟県村上市震度6強, 山形県鶴岡市震度6弱)

7月 3日 梅雨前線による大雨(九州)



- 8月13日 台風10号による大雨（四国，九州）
- 8月28日 梅雨前線による大雨（四国・九州地方）
- 9月6日 台風15号（令和元年房総半島台風）による急激な雨と猛烈な風（関東・東海地方）
- 9月21日 台風17号による大雨（西日本）
- 10月8日 台風19号（令和元年東日本台風）による記録的な大雨（東日本）

※地震発生時の情報収集開始震度の変更：震度5強→震度6弱

〔第19回災害時情報ネットワーク会議（平成30年6月29日）決定〕

- ④ 災害時情報ネットワークの保守・管理（システム及びメーリングリスト）
- ⑤ JHAT（日本災害時透析医療協働支援チーム）への参画，協力

## 2. 医療安全対策事業

### (1) 医療安全対策委員会

#### 1) 医療事故対策部会

平成25年12月に実施し，その調査結果を平成28年4月に発表した「平成25年度日本透析医会透析医療事故調査報告（改訂版）」（日本透析医会雑誌 Vol.31-No.1）をもとに，改めて透析医療事故に関する全国調査を令和2年度に実施することとし，その調査項目，調査方法及び課題等について検討を行った。

#### 2) 感染防止対策部会

##### ① 透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）の改訂について

感染対策部会の下に設置したワーキンググループにおいて，「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）」（2015年3月発刊）の改訂を行い，令和2年4月に五訂版として発刊する予定である。

##### ② 新型コロナウイルス（COVID-19）感染症への対応について

令和元年12月以降に中国湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルス（COVID-19）感染症が発生し，日本国内でも令和2年1月15日に武漢市に渡航歴のある肺炎患者から新型コロナウイルスが検出された。それ以降，感染拡大期やまん延期に応じた透析施設における対応について，次のとおり関係者あてに会報等により周知した。

なお，当部会の下に「新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ」を設置（2月28日）し，新型コロナウイルス感染対策にあたっているところである。

2月4日 新型コロナウイルス関連肺炎に対する透析施設での対応について（第1報）

2月18日 新型コロナウイルス感染症への対応について（会告）

2月26日 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第2報）

3月3日 透析患者に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が疑われた場合，確定した場合の対応（会告）

3月4日 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第3報）

3月6日 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）のPCR検査について（会告）

3月12日 新型コロナウイルス（COVID-19）肺炎を発症した血液透析患者の経過についての症例報告

3月25日 透析施設での新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染対策徹底のお願い

また，上記の他，3月16日にCOVID-19に関する緊急全国WEBセミナー「新型コロナウイルス感染（COVID-19）の現況と透析施設での感染対策～感染拡大期からまん延期に備えて～」を開催し，2,182名が参加した。

さらに，日本透析医学会と合同で「新型コロナウイルス感染対策合同委員会」を設置（3月27日）し，

新型コロナウイルス感染症に係る情報収集及び透析施設での受け入れに係る問題点等について検討することとしている。

## その他の事業

### 情報管理委員会

- ホームページの運用・管理を行い、次の情報をホームページに掲載し情報発信した。

(平成31年)

- 4月1日 透析関連排水に関する勧告
- 4月24日 日本透析医会通常総会の開催について(案内)
- 4月24日 日本透析医会雑誌 Vol.34-No.1
- 4月24日 HIV感染透析患者医療ガイド(厚生労働行政推進調査事業(エイズ対策政策研究事業)「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究班」)
- 4月24日 2019年度日本透析医会公募研究助成金の申請について(案内)

(令和元年)

- 5月21日 平成30年度事業報告・財務諸表、役員名簿(5月19日現在)
- 6月5日 日本透析医会研修セミナーの開催について(案内)(11月3日開催)  
「透析医療における Current Topics 2019(熊本開催)」
- 6月5日 日本透析医会研修セミナーDVDの貸出しについて(令和元年5月東京開催分まで)
- 6月24日 感染性廃棄物について(令和元年度医療関係機関等を対象とした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会の案内)(日本医師会)
- 8月29日 日本透析医会雑誌 Vol.34-No.2
- 9月4日 膜型血漿分離器における接続用ポートの誤接続防止のための形状変更とその対応について(厚生労働省医薬・生活衛生局通知)
- 9月10日 HIVの受入れ阻害因子を考えるシンポジウムの開催(11月6日開催)について(案内)  
(厚生労働行政推進調査事業「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究班」)
- 10月30日 2019年版透析排水基準
- 11月14日 エベレンゾ錠(ロキサデュスタット)(HIF-PHD阻害薬)の薬価収載と請求方法について
- 11月18日 研修セミナーDVDの貸し出しについて(2019年11月開催まで)
- 11月18日 研修セミナー講演録(2019年5月開催)
- 11月18日 日本透析医会研修セミナーの開催について(案内)(5月17日開催)  
「透析医療における Current Topics 2020(東京開催)」
- 11月20日 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について(エベレンゾ錠等の算定方法に関する留意事項通知)(厚生労働省保険局)
- 11月25日 HIVの受入れ阻害要因を考えるシンポジウムの開催(名古屋開催)について(案内)  
(厚生労働行政推進調査事業「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究班」)
- 12月13日 HIVの受入れ阻害要因を考えるシンポジウムの開催(大宮開催)について(案内)  
(厚生労働行政推進調査事業「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究班」)
- 12月25日 日本透析医会雑誌 Vol.34-No.3

(令和2年)

- 2月4日 新型コロナウイルス関連肺炎に対する透析施設での対応について(第1報)
- 2月18日 新型コロナウイルス感染症に関する情報について
- 2月18日 〈会告〉新型コロナウイルス感染症への対応について

- 2月26日 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第2報）
- 3月3日 透析患者に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が疑われた場合，確定した場合の対応
- 3月4日 透析患者に新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第3報）
- 3月5日 令和2年度診療報酬改定に伴う人工腎臓の算定に関して
- 3月5日 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）のPCR検査について（会告）
- 3月12日 新型コロナウイルス（COVID-19）肺炎を発症した血液透析患者の経過についての症例報告
- 3月12日 COVID-19に関する緊急全国WEBセミナーの開催について（3月16日開催）
- 3月25日 透析施設での新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染対策徹底のお願い
- 3月31日 令和元年度公募研究助成の審査結果について
- 3月31日 令和2年度事業計画・収支予算

### 3. 会務報告

#### (1) 関係機関との意見交換等（主なもの）

（令和元年）

- 6月21日 厚生労働省訪問（透析排水管理及び診療報酬に関する諸問題等）  
〔訪問先〕 医政局総務課長  
医政局地域医療計画課長  
健康局がん・疾病対策課 課長補佐  
保険局医療課長  
〔当 会〕 秋澤会長，宍戸専務理事，太田常務理事，山川常務理事
- 7月29日 厚生労働省訪問（透析排水管理及び診療報酬に関する諸問題等）  
〔訪問先〕 保険局医療課 課長補佐  
医政局総務課長  
医政局医事課長  
大臣官房厚生科学課長  
〔当 会〕 秋澤会長，宍戸専務理事，太田常務理事，山川常務理事
- 8月21日 厚生労働省訪問（透析医療に関するオンライン診療）  
〔訪問先〕 医政局医事課医師養成等企画調整室長  
〔当 会〕 太田常務理事
- 9月18日 厚生労働省訪問（診療報酬に関する諸問題等）  
〔訪問先〕 保険局医療課 課長補佐  
〔当 会〕 太田常務理事
- 10月22日 全国腎臓病協議会との意見交換会（当面の課題）  
〔全腎協〕 会長 他3名  
〔当 会〕 秋澤会長，宍戸専務理事，太田常務理事，山川常務理事
- 12月 6日 厚生労働省訪問（医師のタスクシフティング）  
〔訪問先〕 医政局医事課 課長補佐 他  
〔当 会〕 山川常務理事
- 12月17日 日本臨床工学技士会との意見交換（臨床工学技士の業務等）  
〔日臨工〕 業務部長 他1名  
〔当 会〕 山川常務理事
- 12月20日 厚生労働省訪問（透析医療に関するオンライン診療）  
〔訪問先〕 医政局医事課  
〔当 会〕 太田常務理事
- 12月25日 日本臨床工学技士会との意見交換（臨床工学技士の業務等）  
〔日臨工〕 理事長 他1名  
〔当 会〕 秋澤会長
- 12月26日 厚生労働省訪問（診療報酬に関する諸問題等）  
〔訪問先〕 保険局医療課 課長補佐  
〔当 会〕 太田常務理事

## (令和2年)

- 1月24日 厚生労働省訪問（災害時の透析医療の確保）  
〔訪問先〕 健康局がん・疾病対策課 課長補佐  
〔当 会〕 山川常務理事
- 3月 2日 厚生労働省訪問（新型コロナウイルス感染症）  
〔訪問先〕 健康局がん・疾病対策課 課長補佐  
〔医学会〕 竜崎先生，土谷先生  
〔当 会〕 篠田副会長
- 3月 3日 要望書提出（新型コロナウイルス感染症に関する要望）  
〔提出先〕 厚生労働省がん・疾病対策課長  
〔提出者〕 日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会

## (2) その他の会務報告

## (平成31年)

- 4月12日 監事監査：岩崎監事・杉崎監事・渡邊監事

## (令和元年)

- 5月18日 後援：(公社)日本臨床工学技士会「第29回日本臨床工学会(名古屋市)」  
～19日
- 6月 5日 東京法務局あて申請：変更登記申請(理事・監事)
- 6月25日 内閣総理大臣(内閣府)あて報告：変更届(理事・監事)
- 6月25日 内閣総理大臣(内閣府)あて提出：平成30年度事業報告等
- 6月25日 「第23回透析医療費実態調査」実施(221施設あて依頼)
- 7月 4日 「透析医療機関経営・施設実態調査2019」実施(611医療法人あてに依頼)
- 7月 6日 後援：(公社)日本臨床工学技士会「第12回透析液安全管理責任者研修会(東京)」  
～7日
- 7月 7日 後援：(一社)全国腎臓病協議会「2019年度全腎協全国大会in大分」
- 7月29日 「透析医療機関の消費税率引上げに伴う診療報酬改定における補てん不足に関するアンケート」実施(748施設あてに依頼)
- 7月26日 監事監査：岩崎監事
- 10月 1日 共催：厚生労働省「令和元年度臓器移植普及推進月間」  
～31日
- 10月19日 後援：厚生労働省「令和元年度臓器移植推進国民大会(青森市)」
- 10月25日 令和元年度中間決算実施
- 10月25日 監事監査：岩崎監事
- 12月 1日 後援：公益財団法人宮城県腎臓協会「第48回宮城県腎不全研究会」(宮城)

## (令和2年)

- 1月24日 監事監査：岩崎監事
- 2月 5日 文部科学省 e-Rad 運用担当あて申請：府省共通研究開発管理システム(e-Rad)研究機関の登録申請書
- 3月31日 内閣総理大臣(内閣府)あて提出：令和2年度事業計画・収支予算

## Ⅱ. 法人の概況

## 1. 役員に関する事項

## (1) 理事

令和2年3月31日現在

役職名	氏名	現職
会長	秋澤 忠男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
副会長	隈 博政	医療法人明楽会 理事長（くまクリニック）
〃	篠田 俊雄	つくば国際大学医療保健学部医療技術学科 教授
専務理事	宍戸 寛治	社会医療法人財団石心会 川崎クリニック 院長
常務理事	太田 圭洋	社会医療法人名古屋記念財団 理事長（名古屋記念病院）
〃	甲田 豊	医療法人社団甲田内科クリニック 理事長
〃	土谷晋一郎	特定医療法人あかね会 会長（土谷総合病院）
〃	戸澤 修平	医療法人社団北辰 理事長（クリニック1・9・8札幌）
〃	山川 智之	特定医療法人仁真会 理事長（白鷺病院）
理事	東 仲宣	特定医療法人財団松圓会 東葛クリニック病院 名誉理事長 院長
〃	安藤 亮一	武蔵野赤十字病院 副院長
〃	伊藤 孝史	島根大学医学部附属病院腎臓内科 診療教授
〃	今田 直樹	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院 副院長
〃	加藤 明彦	浜松医科大学医学部附属病院血液浄化療法部 病院教授
〃	亀川 隆久	独立行政法人地域医療機能推進機構南海医療センター 名誉院長
〃	久木山厚子	医療法人社団三村久木山会 理事長（宇土中央クリニック）
〃	久保 和雄	医療法人社団昇陽会 高円寺すずきクリニック 院長
〃	黒田 重臣	くろだ明大前クリニック 院長
〃	小林 真也	医療法人社団萌生舎 理事長（宮の沢腎泌尿器科クリニック）
〃	酒井 謙	東邦大学医療センター大森病院 腎センター 教授
〃	佐藤 壽伸	独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院 副院長
〃	佐中 孜	社会福祉法人仁生社 江戸川病院 生活習慣病CKDセンター長
〃	澤 宏紀	元国立健康・栄養研究所 所長
〃	鈴木都美雄	医療法人鈴木泌尿器科 理事長
〃	沼田 明	医療法人尚腎会 高知高須病院 副理事長（名誉院長）
〃	百武 宏幸	医療法人百武医院 理事長
〃	前田 憲志	医療法人有心会 大幸砂田橋クリニック 院長
〃	村上 秀一	医療法人三良会 理事長（村上新町病院）
〃	山下 達博	医療法人社団博寿会 理事長（山下医院）
〃	依藤 良一	医療法人社団仁成会 仁成クリニック

- すべて非常勤，無報酬
- 任期：令和元年5月19日から令和3年度通常総会の終結の時まで

## (2) 監事

令和2年3月31日現在

監事	岩崎 文昭 <sup>※2</sup>	鳥飼総合法律事務所 弁護士・公認会計士
〃	杉崎 弘章 <sup>※1</sup>	医療法人社団心施会 会長（八王子東町クリニック）
〃	渡邊 有三 <sup>※2</sup>	春日井市民病院 統括顧問

- すべて非常勤，無報酬
- 任期：※1 令和元年5月19日から令和3年度通常総会の終結の時まで  
※2 平成30年5月20日から令和2年度通常総会の終結の時まで

## 2. 会員に関する事項

会員区分*		平成30年度 (平成31年3月31日現在)	令和元年度 (令和2年3月31日現在)	増減
A会員	(1)	438名	443名	5名
	(2)	165名	161名	-4名
	(3)	92名	87名	-5名
	(4)	58名	54名	-4名
B会員	(1)	157名	156名	-1名
	(2)	203名	195名	-8名
合計		1,113名	1,096名	-17名

※会員区分について

A会員：私的医療機関の管理者・透析部門責任者

(所属施設の透析機台数に応じ(1)～(4)に区分)

(1) 30台以上 (2) 20～29台 (3) 10～19台 (4) 0～9台

B会員：公的医療機関の管理者・透析部門責任者及び勤務医

(1) 公的医療機関の管理者・透析部門責任者

(2) 勤務医

## 令和元年度事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。



## 第1号議案

## 令和元年度財務諸表

## 1. 貸借対照表（令和2年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	13,103	26,953	△ 13,850
普通預金	13,821,824	19,317,902	△ 5,496,078
ゆうちょ銀行振替口座	454,650	77,257	377,393
流動資産合計	14,289,577	19,422,112	△ 5,132,535
2. 固定資産			
(1) 基金			
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	202,004,889	0
基金合計	202,004,889	202,004,889	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,464,610	5,486,325	978,285
創立40周年記念事業積立資産	7,000,000	—	7,000,000
特定資産合計	13,464,610	5,486,325	7,978,285
(3) その他固定資産			
電話加入権	4	563,372	△ 563,368
淡路建物ビル保証金	6,300,000	6,300,000	0
警備保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	6,350,004	6,913,372	△ 563,368
固定資産合計	221,819,503	214,404,586	7,414,917
資産合計	236,109,080	233,826,698	2,282,382
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	411,459	565,972	△ 154,513
未払金	9,450,000	6,900,000	2,550,000
流動負債合計	9,861,459	7,465,972	2,395,487
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,464,610	5,486,325	978,285
固定負債合計	6,464,610	5,486,325	978,285
負債合計	16,326,069	12,952,297	3,373,772
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	219,783,011	220,874,401	△ 1,091,390
正味財産合計	219,783,011	220,874,401	△ 1,091,390
負債及び正味財産合計	236,109,080	233,826,698	2,282,382

## 2. 正味財産増減計算書（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 研究助成事業基金運用益 研究助成事業基金受取利息	20,200	20,200	0
② 受取入会金 受取入会金	240,000	240,000	0
③ 受取会費 受取会費	88,490,000	88,150,000	340,000
④ 受取寄付金 受取寄付金	12,700,000	15,900,000	△ 3,200,000
⑤ 受取支援金 受取支援金	0	53,460,816	△ 53,460,816
⑥ 事業収益 研修セミナー共催金 研修セミナー参加費	300,000 910,000	0 814,000	300,000 96,000
⑦ 雑収益 受取利息 雑収入	2,029 2,000,000	2,470 1,024,199	△ 441 975,801
経常収益計	104,662,229	159,611,685	△ 54,949,456
(2) 経常費用			
事業費			
調査研究、普及、教育研修事業	52,306,558	49,577,477	2,729,081
給与手当	7,551,276	9,256,165	△ 1,704,889
法定福利費	1,180,635	—	1,180,635
退職金	136,535	0	136,535
退職給付費用	391,312	184,824	206,488
福利厚生費	43,728	64,884	△ 21,156
会議費	1,284,755	543,288	741,467
旅費交通費	6,195,780	4,145,990	2,049,790
通信運搬費	1,386,613	1,344,087	42,526
事務消耗品費	984,006	933,372	50,634
印刷製本費	11,400,348	12,372,288	△ 971,940
水道光熱費	83,381	86,578	△ 3,197
家賃	1,796,483	1,654,987	141,496
原稿料	1,140,000	2,606,440	△ 1,466,440
講演料	1,169,385	—	1,169,385
諸会費	20,848	21,648	△ 800
警備等委託費	361,979	420,533	△ 58,554
ホームページ管理費	380,032	349,488	30,544
レセプト調査費	1,911,600	2,376,000	△ 464,400
日本臓器移植ネットワーク会費	100,000	100,000	0
調査研究費	2,205,895	1,000,000	1,205,895
研修セミナー開催費	10,578,254	9,899,006	679,248
研修会等助成費	1,800,000	1,400,000	400,000
雑費	203,713	817,899	△ 614,186
研究助成事業	23,672,451	25,740,727	△ 2,068,276
給与手当	3,775,638	4,628,084	△ 852,446

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
法定福利費	590,318	—	590,318
退職金	68,266	0	68,266
退職給付費用	195,658	92,412	103,246
福利厚生費	21,866	32,442	△ 10,576
会議費	42,516	48,965	△ 6,449
旅費交通費	93,920	93,920	0
通信運搬費	93,828	107,168	△ 13,340
事務消耗品費	492,002	466,688	25,314
印刷製本費	58,822	56,948	1,874
水道光熱費	41,690	43,290	△ 1,600
家賃	898,240	827,494	70,746
謝金	278,425	267,288	11,137
諸会費	10,424	10,824	△ 400
警備等委託費	184,490	210,266	△ 25,776
ホームページ管理費	190,016	174,744	15,272
研究助成費	16,550,000	18,300,000	△ 1,750,000
雑費	86,332	380,194	△ 293,862
<b>安全対策事業</b>	<b>9,776,472</b>	<b>60,928,931</b>	<b>△ 51,152,459</b>
給与手当	1,887,819	2,314,042	△ 426,223
法定福利費	295,159	—	295,159
退職金	34,133	0	34,133
退職給付費用	97,829	46,206	51,623
福利厚生費	10,933	16,221	△ 5,288
会議費	978,232	245,413	732,819
旅費交通費	958,220	31,760	926,460
通信運搬費	98,226	88,072	10,154
事務消耗品費	246,001	233,344	12,657
印刷製本費	29,411	28,474	937
水道光熱費	20,845	21,645	△ 800
家賃	449,120	413,747	35,373
諸会費	5,212	5,412	△ 200
警備等委託費	92,245	105,133	△ 12,888
講演会費	1,198,890	0	1,198,890
講演料	111,370	0	111,370
ホームページ管理費	166,508	87,372	79,136
システム管理費	2,349,893	2,781,987	△ 432,094
災害発生時対応諸経費	666,000	824,630	△ 158,630
災害支援金	0	53,460,816	△ 53,460,816
雑費	80,426	224,657	△ 144,231
事業費計	85,755,481	136,247,135	△ 50,491,654
<b>管理費</b>			
給与手当	5,663,457	6,942,125	△ 1,278,668
法定福利費	885,476	—	885,476
退職金	102,400	0	102,400
退職給付費用	293,486	138,618	154,868
福利厚生費	32,798	48,663	△ 15,865
会議費	738,568	555,206	183,362
常任理事会費	3,940,213	3,548,687	391,526
理事会費	2,096,767	1,896,586	200,181
総会費	931,578	644,378	287,200

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	578,060	1,014,470	△ 436,410
通信運搬費	140,741	160,753	△ 20,012
事務消耗品費	738,004	700,031	37,973
印刷製本費	88,233	85,423	2,810
水道光熱費	62,536	64,934	△ 2,398
家賃	1,347,361	1,241,240	106,121
会計委託費	1,090,000	1,080,000	10,000
警備等委託費	273,734	315,400	△ 41,666
租税公課	1,200	0	1,200
慶弔費	0	122,664	△ 122,664
諸会費	15,636	16,236	△ 600
ホームページ管理費	285,024	262,116	22,908
雑費	129,498	562,192	△ 432,694
管理費計	19,434,770	19,399,722	35,048
経常費用計	105,190,251	155,646,857	△ 50,456,606
当期経常増減額	△ 528,022	3,964,828	△ 4,492,850
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産評価損	563,368	0	563,368
電話加入権評価損	563,368	0	563,368
固定資産評価損計	563,368	0	563,368
経常外費用計	563,368	0	563,368
当期経常外増減額	△ 563,368	0	△ 563,368
当期一般正味財産増減額	△ 1,091,390	3,964,828	△ 5,056,218
一般正味財産期首残高	220,874,401	216,909,573	3,964,828
一般正味財産期末残高	219,783,011	220,874,401	△ 1,091,390
II 指定正味財産期末残高			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	219,783,011	220,874,401	△ 1,091,390

3. 正味財産増減計算書内訳表 (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				小 計	法人会計	内部取引消去	合 計
	調査研究、普及、教育研修事業	研究助成事業	安全対策事業	公益共通				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
研究助成事業基金運用益	0	20,200	0	0	20,200	0	0	20,200
研究助成事業基金受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	168,000	168,000	72,000	0	240,000
受取会費	0	0	0	61,943,000	61,943,000	26,547,000	0	88,490,000
受取寄付金	0	0	0	12,700,000	12,700,000	0	0	12,700,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取支援金	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	300,000	0	0	0	300,000	0	0	300,000
研修セミナー共催費	910,000	0	0	0	910,000	0	0	910,000
研修セミナー参加費	0	0	0	2,029	2,029	0	0	2,029
雑収益	0	0	0	2,000,000	2,000,000	0	0	2,000,000
雑収入	1,210,000	20,200	0	76,813,029	78,043,229	26,619,000	0	104,662,229
経常収益計								
(2) 経常費用								
事業費								
給与手当	7,551,276	3,775,638	1,887,819	0	13,214,733	0	0	13,214,733
法定福利費	1,180,635	590,318	295,159	0	2,066,112	0	0	2,066,112
退職金	136,535	68,266	34,133	0	238,934	0	0	238,934
退職給付費用	391,312	195,658	97,829	0	684,799	0	0	684,799
福利厚生費	43,728	21,866	10,933	0	76,527	0	0	76,527
会議費	1,284,755	42,516	978,232	0	2,305,503	0	0	2,305,503
旅費交通費	6,195,780	93,920	958,220	0	7,247,920	0	0	7,247,920
通信運搬費	1,386,613	93,828	98,226	0	1,578,667	0	0	1,578,667
事務消耗品費	984,006	492,002	246,001	0	1,722,009	0	0	1,722,009
印刷製本費	11,400,348	58,822	29,411	0	11,488,581	0	0	11,488,581
水道光熱費	83,381	41,690	20,845	0	145,916	0	0	145,916
家賃	1,796,483	898,240	449,120	0	3,143,843	0	0	3,143,843
謝金	0	278,425	0	0	278,425	0	0	278,425
原稿料	1,140,000	0	0	0	1,140,000	0	0	1,140,000
講演料	1,169,385	0	111,370	0	1,280,755	0	0	1,280,755
諸会費	20,848	10,424	5,212	0	36,484	0	0	36,484
警備等委託費	361,979	184,490	92,245	0	638,714	0	0	638,714
ホームページ管理費	380,032	190,016	166,508	0	736,556	0	0	736,556
レセプト調査費	1,911,600	0	0	0	1,911,600	0	0	1,911,600
日本臓器移植ネットワーク会費	100,000	0	0	0	100,000	0	0	100,000
調査研究費	2,205,895	0	0	0	2,205,895	0	0	2,205,895
研修セミナー開催費	10,578,254	0	0	0	10,578,254	0	0	10,578,254
講演会費	0	0	1,198,890	0	1,198,890	0	0	1,198,890
研修会等助成費	1,800,000	0	0	0	1,800,000	0	0	1,800,000



## 4. 財務諸表に対する注記

## (1) 重要な会計方針

## 1) 退職給付引当金の計上基準

期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上することとしている。

## 2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

## (2) 基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高

基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	0	0	202,004,889
小 計	202,004,889	0	0	202,004,889
特定資産				
退職給付引当資産	5,486,325	978,285	0	6,464,610
創立40周年記念事業積立資産	0	7,000,000	0	7,000,000
小 計	5,486,325	7,978,285	0	13,464,610
その他固定資産				
電話加入権	563,372	0	563,368	4
淡路建物ビル保証金	6,300,000	0	0	6,300,000
警備保証金	50,000	0	0	50,000
小 計	6,913,372	0	563,368	6,350,004
合 計	214,404,586	7,978,285	563,368	221,819,503

## (3) 基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳

基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	(0)	(202,004,889)	(0)
小 計	202,004,889	(0)	(202,004,889)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	6,464,610	(0)	(0)	(6,464,610)
創立40周年記念事業積立資産	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
小 計	13,464,610	(0)	(7,000,000)	(6,464,610)
その他の固定資産				
電話加入権	4	(0)	(4)	(0)
淡路建物ビル保証金	6,300,000	(0)	(6,300,000)	(0)
警備保証金	50,000	(0)	(50,000)	(0)
小 計	6,350,004	(0)	(6,350,004)	(0)
合 計	221,819,503	(0)	(215,354,893)	(6,464,610)

## 5. 附属明細書

(1) 基金, 特定資産, その他の固定資産の明細  
財務諸表に対する注記(2)に記載している。

## (2) 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増減額	当期減少額		期末残高
			使用目的	その他	
退職給付引当金	5,486,325	978,285	0	0	6,464,610
合 計	5,486,325	978,285	0	0	6,464,610



## 6. 財産目録（令和2年3月31日現在）

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金	手元保管	運転資金として	13,103
	普通預金	りそな銀行	〃	231,950
		三菱 UFJ 銀行	〃	13,589,874
	振替口座	ゆうちょ銀行	〃	454,650
流動資産合計				14,289,577
(固定資産)				
基金	研究助成事業基金	三菱 UFJ 銀行	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業に使用している	202,004,889
特定資産	退職給付引当資産	三菱 UFJ 銀行	職員退職金の支払財源として積み立てている	6,464,610
	創立 40 周年記念事業積立資産	三菱 UFJ 銀行	創立 40 周年記念事業の支払財源として積み立てている	7,000,000
その他固定資産	電話加入権		〈特定資産合計〉 共用財産であり、うち 70% は公益の用に供し、30% は管理運営の用に供している	13,464,610 4
	淡路建物ビル保証金	(有) 淡路建物ビル	〃	6,300,000
	警備保証金	セコム (株)	〃	50,000
〈その他固定資産合計〉				6,350,004
固定資産合計				221,819,503
資産合計				236,109,080
(流動負債)				
	預り金	会員	会費 (重複納入) の預り分	20,000
		職員	源泉所得税の未払い分	225,844
		〃	健康保険の未払い分	65,880
		〃	厚生年金の未払い分	99,735
	未払金	研究助成決定者 (6 名分)	研究助成費の未払い分	9,450,000
流動負債合計				9,861,459
(固定負債)	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払に備えたもの	6,464,610
固定負債合計				6,464,610
負債合計				16,326,069
正味財産				219,783,011

## 監査報告書

令和2年4月10日

公益社団法人日本透析医会  
会長 秋澤 忠男 殿

公益社団法人日本透析医会

監事 岩崎 文昭 ㊞

監事 杉崎 弘章 ㊞

監事 渡邊 有三 ㊞

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等（貸借対照表損益計算書（正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

## 第2号議案

## 役員（監事）選任の件

令和2年度通常総会の終結をもって任期満了となる役員（監事）の選任について、下記の監事2名の候補者を  
選任していただきたくお願いいたします。

なお、任期は、令和4年度通常総会の終結の時までの2年間となります。

## ○監事（定数3名※ 候補者2名）

氏名	所属	備考
岩崎 文昭	鳥飼総合法律事務所 弁護士・公認会計士	重任
渡邊 有三	春日井市民病院 統括顧問	重任

※定数3名のうち1名は、令和元年度通常総会において選任済み  
（任期：令和3年度通常総会の終結の時まで）

第3号議案

定款の一部変更について

1. 変更理由

(1) 目的及び事業について（第2章 第3条及び第4条）

- ① 現在、当会において実施している事業は、「適正な人工透析療法」に関する事業ではなく、透析医療や腎不全対策に関するものであることから、それらに基づいた目的とするものである。
- ② 他団体と同様に、当会においても都道府県透析医会との連携により、透析医療の提供体制等に寄与していることに鑑み、それを目的に規定するものである。
- ③ 目的の変更に伴い、事業についてもそれに沿った内容とするものである。

(2) 通常総会の開催月について（第4章 第14条）

通常総会については、毎年度5月開催と規定されているが、必要に応じて6月においても開催できるようにするものである。

(3) 名誉会員の創設及び顧問の位置付けについて（第8章）

- ① 法人の事業に関して、特に功労のあった会員を「名誉会員」（称号の授与）とする制度を創設するものである。この制度の創設に伴い、施行日に顧問に就任している者については、名誉会員とするものである。
- ② 顧問については、「会長の諮問に応じた助言」というその役割を明確にすることとする。その適正な人数として、定数30名以内を15名以内とする。また、顧問の職務の重要性に鑑み、必要に応じて謝金が支給できるようにするものである。
- ③ この定款の一部変更に基づき、顧問の委嘱要件や職務内容等を定めた「顧問に関する規程」及び名誉会員の資格要件等を定めた「名誉会員に関する規程」を整備するものである。  
（第4号議案「定款変更の一部変更に伴う関係規程の整備について」により提案）

2. 変更内容

（下線は変更部分）

変 更 案	現 行
第2章 目的及び事業	第2章 目的及び事業
<p>（目的）</p> <p>第3条 本会は、都道府県透析医会との連携のもと、<u>透析医療及び腎不全対策に関する調査研究及び教育研修を行い、その進歩普及に貢献するとともに、災害時における透析医療の確保に資する事業を行い、もって国民の保健・福祉の向上に寄与することを目的とする。</u></p> <p>（事業）</p> <p>第4条 本会は、前条の公益目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <p>（1）<u>透析医療における技術、安全性及び有効性の向上並びに腎不全対策の推進に関する調査研究及びその普及</u></p>	<p>（目的）</p> <p>第3条 本会は、<u>適正な人工透析療法を普及し、技術及び安全性、有効性の向上を図り、関係者の教育研修を行うとともに、腎不全対策の推進並びに災害時における透析医療の確保に資する事業を行い、もって国民の保健・福祉の向上に寄与することを目的とする。</u></p> <p>（事業）</p> <p>第4条 本会は、前条の公益目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <p>（1）<u>人工透析療法の導入及び継続に関し、その適正化を図るための事例検討、その他の調査研究及びその普及</u></p>

変 更 案	現 行
<p>(2) <u>前号の調査研究に対する助成</u></p> <p>(3) <u>透析医療及び腎不全対策に関する医療従事者の教育及び研修</u></p> <p>(4) <u>腎不全予防、腎移植その他腎不全対策の推進のため、国、地方公共団体等が行う活動への協力</u></p> <p>(5) <u>災害時における透析医療の確保を図るため、災害時情報ネットワークを運用し、国、地方公共団体等が行う活動への協力</u></p> <p>(6) <u>その他、本会の目的を達成するために必要な事業</u></p> <p>2 前項の事業は、日本全国において行うものとする。</p>	<p>(2) <u>腎不全予防、腎移植その他腎不全対策の推進のため、国、地方公共団体等が行う活動に協力</u></p> <p>(3) <u>人工透析療法に関する医療従事者の教育及び研修</u></p> <p>(4) <u>人工透析療法の安全性及び有効性の向上並びに腎不全医療の推進に関する調査研究に対する助成</u></p> <p>(5) <u>災害時における透析医療の確保を図るため、災害時情報ネットワークを運用し、国、地方公共団体等が行う支援活動に協力</u></p> <p>(6) <u>その他、本会の目的を達成するために必要な事業</u></p> <p>2 前項の事業は、日本全国において行うものとする。</p>
<p style="text-align: center;">第 4 章 総 会</p> <p>(種類及び開催)</p> <p>第 14 条 本会の総会は、通常総会及び臨時総会の 2 種とする。</p> <p>2 通常総会は、<u>毎年 1 回開催する。</u></p> <p>3 (省略)</p>	<p style="text-align: center;">第 4 章 総 会</p> <p>(種類及び開催)</p> <p>第 14 条 本会の総会は、通常総会及び臨時総会の 2 種とする。</p> <p>2 通常総会は、<u>毎年度 5 月に開催する。</u></p> <p>3 (省略)</p>
<p style="text-align: center;">第 8 章 名誉会長及び顧問並びに名誉会員</p> <p>(名誉会長及び顧問)</p> <p>第 39 条 本会に、名誉会長 1 名以上 3 名以下及び顧問 <u>15 名以内を置くことができる。</u></p> <p>2 名誉会長は、会長に対し必要な助言を行う。</p> <p>3 顧問は、会長の諮問に応じ必要な助言を行う。</p> <p>4 (削除)</p> <p>4 顧問に関する事項は、総会の承認を経て会長が別に定める。</p>	<p style="text-align: center;">第 8 章 名誉会長及び顧問</p> <p>(名誉会長及び顧問)</p> <p>第 39 条 本会に、名誉会長 1 名以上 3 名以下及び顧問 <u>30 名以内を置くことができる。</u></p> <p>2 名誉会長は、会長に対し必要な助言を行う。</p> <p>3 顧問は、会長の諮問に応じ必要な助言を行う。</p> <p>4 <u>名誉会長及び顧問は、無報酬とする。</u></p> <p>5 顧問に関する事項は、総会の承認を経て会長が別に定める。</p>
<p>(名誉会員)</p> <p>第 40 条 本会の会員として、法人に特に功労のあった者に名誉会員の称号を与えることができる。</p> <p>2 <u>名誉会員に関する事項は、総会の承認を経て会長が別に定める。</u></p>	
<p>第 41 条  ( ) (現行どおり)</p> <p>第 54 条</p>	<p>第 40 条  ( ) (条文省略)</p> <p>第 53 条</p>
<p>附 則</p> <p><u>この定款は、令和 2 年 5 月 17 日より施行する。</u></p>	

(参考)

## 公益目的事業の名称変更について

定款の目的及び事業の一部変更に伴い、公益目的事業の名称を次のとおり変更する。ただし、それぞれの事業内容に変更はありません。

(下線は変更部分)

変 更 案	現 行
公1 <u>透析医療及び腎不全対策</u> に関する調査研究、普及、教育研修事業 1. <u>調査研究事業</u> 2. <u>普及事業</u> 3. <u>教育研修事業</u>	公1 <u>人工透析療法</u> に関する調査研究、普及、教育研修事業 1. <u>透析医療の適正化に関する調査研究事業</u> 2. <u>人工透析療法の普及事業</u> 3. <u>人工透析療法にかかわる医療従事者の教育研修事業</u>
公2 <u>透析医療及び腎不全対策</u> に関する研究助成事業 1. 研究助成事業	公2 <u>人工透析療法</u> に関する研究助成事業 1. 研究助成事業
公3 <u>透析医療及び腎不全対策</u> に関する安全対策事業 1. <u>災害対策事業</u> 2. 医療安全対策事業	公3 <u>人工透析療法</u> に関する安全対策事業 1. <u>災害時における国、地方公共団体等が行う腎不全医療に関する安全対策への協力事業</u> 2. 医療安全対策事業

## 第4号議案

## 定款の一部変更に伴う関係規程の整備について

定款の一部変更に伴い、「公益社団法人日本透析医会顧問に関する規程」及び「公益社団法人日本透析医会名誉会員に関する規程」を整備（制定）するものである。

## ●公益社団法人日本透析医会 顧問に関する規程（案）

（目的）

第1条 この規程は、公益社団法人日本透析医会定款第39条第4項の規定に基づき、顧問に関する事項を定めることを目的とする。

（要件）

第2条 顧問は、15名以内とし、次の各号のいずれかに該当する者の中から、理事会の承認を得て、会長がこれを委嘱することができる。

- (1) 透析医療や透析事業に特に顕著な功績があった者
- (2) 透析医療に関して相当の学識経験を有する者
- (3) 医療関係の法令又は会計に特に精通している者
- (4) 医療行政に長年携わった者
- (5) その他、会長が前各号に準ずるものと認めた者

（職務）

第3条 顧問の職務は、次に掲げるものとする。

- (1) 会長から諮問された事項について参考意見を述べること
- (2) 会長の相談に応じること

（任期）

第4条 顧問の任期は、会長の任期によるものとし、再任を妨げない。

2 補欠として委嘱された顧問の任期は、前任者又は現任者の任期の満了する時までとする。

（費用）

第5条 顧問には、その職務の遂行に伴い発生する交通費、旅費（宿泊費を含む。）及び謝金について、別に定める本会旅費規程及び本会謝金に関する規程に基づき、その費用を支払うことができる。

（補則）

第6条 この規程に定めるもののほか、顧問に関して必要な事項は、理事会の承認を経て、会長が別に定めることができる。

（規程の改廃）

第7条 この規程の改廃は、総会の決議を経て行うものとする。

附 則

この規程は、令和2年5月17日から施行する。

（令和2年5月17日総会決議）

**●公益社団法人日本透析医会 名誉会員に関する規程（案）**

## （目的）

第1条 この規程は、公益社団法人日本透析医会定款第40条第2項の規定に基づき、名誉会員に関する事項を定めることを目的とする。

## （資格）

第2条 名誉会員称号の授与資格は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 本会の理事及び監事のいずれかの役職に5年以上就任していた者であること。
- (2) 本会の会員として透析医療に関して、又は法人に特に功労があったと認められ、かつ、名誉会員としてふさわしい者であること。

## （決定）

第3条 名誉会員の称号は、常任理事会が推薦し、理事会の決議をもって承認された者に授与する。ただし、名誉会員が会員となることを拒まない。

## （登録）

第4条 名誉会員は、終身資格とし名誉会員簿に登録し、名誉会員証を交付する。

## （取消し）

第5条 名誉会員が次の各号のいずれかに該当するに至ったときは、理事会の承認を得て、会長はこれを取り消すことができる。

- (1) 本会の定款その他の規則に違反したとき。
- (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他取り消すべき正当な事由があるとき。

## （資格の返上）

第6条 名誉会員は、任意に資格を返上することができる。

## （資格の喪失）

第7条 名誉会員が死亡し、又は失跡宣言を受けたときは、その資格を喪失する。

## （補則）

第8条 この規程に定めるもののほか、名誉会員に関する事項は、理事会の承認を経て、会長が別に定めることができる。

## （規程の改廃）

第9条 この規程の改廃は、総会の決議を経て行うものとする。

## 附 則

1 この規程は、令和2年5月17日から施行する。

（令和2年5月17日総会決議）

2 この規程の施行に伴って、施行日現在において顧問に就任している者は、同日付けをもって本規程による名誉会員とする。